



# 快拳! 名人戦連覇はアキヒロだ

第十一期名人戦決勝戦は11月13日(日)秋色に染まった板橋平和公園で行われ、昨年の覇者アキヒロと予選1位通過のマックス吉岡、決勝トーナメント勝者のつぐみによる決勝巴戦となり、アキヒロが5本先取し、2年連続の名人位を獲得した。誰も為しえなかった名人位連覇、これでアキヒロは名実ともに認められる永世名人にリーチがかかった。

決勝巴戦は三者ともに2勝を挙げる混戦となり、勝負の行方はどうなるかわからない状況だった。しかし、ここからアキヒロが破竹の3連勝、二人を圧倒しての勝利だ。アキヒロは入念な準備をしたわけではない。決勝トーナメントの最中に小一時間で磨ったベーだ。それで、いとも簡単に勝ってしまうのだから恐ろしい。いやー強い。やったな、アキヒロ!



アキヒロ、マサヤ、つぐみ おめでとう!

## 決勝トーナメントはつぐみが勝ちあがり

決勝巴戦出場を賭け争われた決勝トーナメントには、ダーリン立川、夢宙人田口、タツヤ、マッチ吾野、ルパン師岡、つぐみ、ハルク、カツヤ愛川、マダム立川、スペイン後藤、はるみ、マサヤの12名が名乗りを上げた。激烈な予選を戦い抜いた精鋭たちだ。その中から勝ち上がったのはつぐみとカツヤ。つぐみははるみ、タツヤ、ハルクを破り、カツヤはマダム、ダーリン、ルパンを倒しての対戦となった。カツヤが勝てば念願の初優勝に一步近づけるが、連戦練磨のつぐみが一步も寄せ付けず、3連勝で決勝巴戦の切符を手に入れた。圧倒されたカツヤだが、これでタイトルがおぼろげながら見えてきたに違いない。



## 子ども王はマサヤ、女流王はつぐみが獲得

予選13位ながら異種格闘技戦で優勝に輝いたマサヤが決勝トーナメントに進出、惜しくもルパンに苦杯をなめたが名人戦子ども王を手に入れた。トーナメントでは、ルパンに囁かれちょっとびびったかな。一方、女流はつぐみだ。立川三姉妹による女流王争いは、決勝巴戦トーナメントを制したつぐみに軍配が上がった。決勝巴戦で2勝のタイになったときには名人位も視野にあっただけに、見事な女流王だ。二人ともおめでとう。



# 柴田ペア、ペアマッチを連覇

名人戦に続きペアマッチもヨッシー・タツヤの柴田ペアが昨年に続き連覇だ。予選から絶好調の柴田ペアは、決勝トーナメントでマーサ戸川・夢宙人田口ペア、奥田パパ・とーさん成田ペアを無傷で破り、決勝戦へコマを進める。片や、ミスター&ミセス高橋ペアも、リク・スペイン後藤ペア、アンナ・ショージペアをこちらは無傷で下し、決勝戦で柴田ペアとの対戦を迎える。

柴田ペアは何の打ち合わせもしていない。それでも、予選を1位通過し、決勝トーナメントでも他を寄せ付けない強さをを見せている。それは、ヨッシーがパッカンで相手を飛ばし、冷静なタツヤが残るというパターンだ。ここまでタツヤに『おんぶにだっこ』だったヨッシーが、決勝戦でも脇役に徹し、ミスター&ミセスペアを4対2のスコアで下し、昨年に引き続きペアマッチ2連覇を遂げた。同一ペアの優勝も初めてのことで、ペアマッチは同一ペアなら3回で永世の称号を挙げてもいいかな。



ヨッシー、タツヤ柴田ペア おめでとう！



## ガチホンコは伏兵怪鳥ギャオスが初！

怪鳥ギャオスが無欲の勝利でガチホンコ初優勝だ。永らく優勝から遠ざかっていたギャオスだが、内に秘めた優勝への思いは強い。それがやっと叶えられたのだ。しかもミスター高橋、アキヒロ、六角デビル、ショージさんを倒しての優勝だから価値がある。こうなったらガチホンコのグラチャンもやっちゃおうかな。

